



東濃地区の子育て・親育ち通信

家庭教育 なう No.9

2020年10月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 奥村
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111〈内線 209〉

FAX 0573-25-7129

MAIL okumura-tamiko@pref.gifu.lg.jp

家庭教育学級の紹介から、「開催の工夫」や「内容の良さ」を学びましょう。

家庭教育「なう」は、恵那県事務所のHPからご覧いただくことができます。 QRコード →



乳幼児期家庭教育学級の紹介



瑞浪市子育て支援センター スマイル 子育てサロン型 キャリア☆ナビ「もう一度働くには」

～こころの準備をしよう～

日時 令和2年9月15日(火) ①10:00～10:40 ②10:50～11:30

講師 岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センター
キャリアカウンセラー 酒井 里佳さん
子育て支援相談専門職 後藤 晴美さん

参加者 乳幼児親子2組

乳幼児期家庭教育学級で開催された、

働きたいと思っている子育て中のお母さんのための就労・子育てに関する講座

子育て支援センター「スマイル」(竜吟幼稚園内)では、6月から活動をスタートし、コロナ対策をしながら、親子で楽しく活動しています。9月15日は、再就職を考えている方、育休明けの方等を対象に、講座が開催されました。本来は、1時間の予定で、5～10名で講座を聴いて、講座後10分位で個別に相談を受けるという内容で開催していますが、今年度は、3密を避けるため、事前予約をした方のみを対象に、個別に講座と相談を行いました。

内容

講座は、全部で4回あり、1回目と2回目は開催できませんでした。今回は、3回目の講座で、2名の方が親子で参加されました。

- ① 5月19日(火)「あなたはどのタイプ？」
- ② 7月20日(月)「マイナスをプラスに」
- ③ 9月15日(火)「もう一度働くには」
- ④ 11月17日(火)「言いにくいことをいうには？」

参加されたお母さんは、以下の項目についてチェックシートとワークシートに記入しながら、キャリアカウンセラーの酒井さんからアドバイスを受けました。

- ・あなたが仕事を含む人生において大切に思う価値は？
- ・あなたは何のために働きたい？
- ・仕事先について考えよう
- ・自分の強みは？
- ・あなたはひとりぼっちではない
- ・求人票の見方



キャリア☆ナビ お知らせボード



個別に講座と相談を行いました。お子さんは、子育て支援センターの方と、相談している横のスペースでお利口に遊んでいました。

【このよさを学びたい!】

- ・「もう一度働くために、資格を取った方がいいですか」と不安な気持ちを相談されるお母さんに、「無理をしなくても今できることをやっていけばいいですよ」とアドバイスされ、復職を考えているお母さんにとって貴重な機会だったこと
- ・求人票の見方等、仕事を探すときの具体的なポイントが分かったこと。
- ・親子で参加することができたこと。

土岐市立下石小学校 在宅取組型 「おうち先生から学ぼう！」

取組期間 8月1日(土)~8月16日(日)
参加者 全校親子

家族の得意なことを子どもに伝えて一緒に体験することで、

家庭のつながりを大切にする在宅取組型家庭教育学級

下石地区は、昔から、自営で陶器を作っている家が多い「物づくりの町」です。そのため、1年生から6年生まで、地場産業を学ぶ取組を行い、図工の授業では、1年はテラコッタ、2年から5年までは釉薬をかけた陶器、6年は土器に取り組み、作陶に親しんでいます。

「おうち先生から学ぼう」は、そんな「物づくりの町」が元になって生まれた取組です。家族のだれかが先生になって、得意なことを子どもに伝えて一緒に体験し、子どもと共に過ごす時間を大切にして、家族の絆を深めます。

記録用紙には、教えてもらったことを絵や写真にして、親子で感想を書いて提出しました。記録用紙は、お母さん、お父さん、おばあちゃん、おじいちゃんの得意なことを学んだ、温かい家族のふれあいでいっぱいでした。

家庭教育学級からのお知らせ
令和2年7月吉日
家庭教育委員長 藤田敬代

『おうち先生から学ぼう』の実施について

日頃はPTAの活動にご協力いただきましてありがとうございます。
さて、いよいよ夏休みに入ります。年間計画でお知らせしました通り、夏休みは、ぜひ家族のつながりを大切にしていただきたく、「おうち先生から学ぼう」の取組を実施したいと考えています。
毎日の生活の中で、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんや近所の方と関わってある中で、子ども達に伝えたいことがいっぱいあります。家族の誰かが先生になり、ご自身の得意なことをお子さんに教える、一緒に体験したりそんなふうに共に過ごす機会をいただけたらと思います。
今年度は夏休みが短いので、8月1日(土)~8月16日(日)までを取組期間とさせていただきます。期間内のご家庭で都合のよいときに、実施してください。よろしくお願ひします。

例えば—
おじいちゃん先生
・将棋
・大工仕事
(このご褒美の思い出があったよ) など
おとうきん先生
・漁業
・テント張り
(魚を釣ることも学ばれたかな) など

※記録用紙は8月17日に

実施のお願い

家庭教育委員会から子ども達へ贈られた賞状

取組の内容

- ・家族のだれかが先生になって、子どもに得意なことを教える。
- ・子どもと一緒に体験し、共に過ごす機会にする。
- ・取組期間中の都合のよいときに実施し、記録用紙に、絵や写真でまとめ、感想を書く。
- ・家庭教育委員会から、子ども達に、「おうち先生から学びましたで賞」の賞状を贈る。

おうち先生から学ぼう！
陶芸家のお父さんから


★おうち先生はだれ? お父さん

★何の先生にやってくれたの? とうげい

やったこと・教えてもらったこと
ごぼう汁を
つくった。
ごぼう汁の
かたを考
えてもらいま
した。

★母・わたしの感想
@おとうさん、
うまくてたので、うれしかったです。

★保護者の声(おうち先生)からの一言
上手にできたね。焼いたら、ごはん
を入れてたべてみよう。



おうち先生から学ぼう！
美容師のお母さんから


★おうち先生はだれ? お母さん

★何の先生にやってくれたの? ひび

やったこと・教えてもらったこと
ウイッグで髪の毛を
しゅう。
髪の毛のけりかた。
かたづけ。

★母・わたしの感想
むずかしかった。
むずかしかった。びょうじになりたいとおもった。

★保護者の声(おうち先生)からの一言
始めはむずかしいと言っていましたが、切り始めると楽しいに変わりました。いい経験になったと思います。



【このよさを学びたい!】

- ・「陶芸家のお父さんから陶芸を学ぶ」「美容師のお母さんから髪の毛の切り方を学ぶ」「おばあちゃんから裁縫を学ぶ」「おじいちゃんから釣りを学ぶ」等、家族の得意なことを学ぶことで、子どもが家族の良さに気づき、ふれあう機会が増えて、家族の絆が深まったこと。
- ・「上手にできたね」「素質があります」「完全にマスターできました」等、家族から温かい感想をもらった子どもたちは、自分に自信をもって生活できること。
- ・家庭教育委員会から賞状が贈られ、夏休みの素敵な思い出が認められ、家族みんなの心に残っていくこと。

おうち先生から学ぼう！
大工のお父さんから


★おうち先生はだれ? お父さん

★何の先生にやってくれたの? くさむら先生

やったこと・教えてもらったこと
大工のお父さんにきりこぎの
やり方、コソなどを教えてもら
いました。
打つのは、かなづちの平らな所で行
う。高所から打つときは2.3回打
てると、きりこぎの音がよく飛
ぶ。きりこぎの音が飛ぶと、きり
こぎの音が飛ぶと、きりこぎの音
が飛ぶ。

★母・わたしの感想
最初は、くぎを打ち終わるまでに時間がかか
ったけど、お父さんに教えてもらった、最初
とくらべてはやく打てるようになりました。

★保護者の声(おうち先生)からの一言
大工30年の私より上手でした。



おうち先生から学ぼう！
電気工事をお父さんから

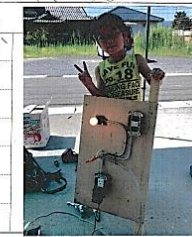
★おうち先生はだれ? じいちゃん

★何の先生にやってくれたの? てんきおとう

やったこと・教えてもらったこと
てんきのつけか
た。

★母・わたしの感想
たのしかった。

★保護者の声(おうち先生)からの一言
素質があります!!



土岐市立駄知中学校 在宅取組型

「1家庭1ボランティア」

取組期間 休校期間中
参加者 全校親子

誰かのために何かをすることで、地域とのつながり、家族とのつながりを深める

在宅取組型家庭教育学級

駄知中学校は、道徳を大切にしていることから、「1家庭1ボランティア」の取組を、これまで年4回実施してきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、休校になった期間を活用して取り組みました。

駄知地区では、駄知町内の行事に、中学生がボランティアとして積極的に参加しています。年度当初のボランティア登録は、毎年、募集人員をオーバーするほど、申し込みがあります。「1家庭1ボランティア」の取組も、家庭内だけでなく、地域でのボランティア活動を考えていましたが、コロナ禍で地域の行事がなくなり、家庭の中での取組が中心となりました。

取組の内容

- ・誰かのために何かできることを決めて取り組む。
- ・それぞれの家庭の実態に合わせて、内容を決める。
- ・取組期間も、それぞれの家庭の都合に合わせて決める。
- ・1家庭1ボランティアチャレンジカードに記入する。
- ・取組が終わったら、振り返りと家の人の言葉を記入する。

1家庭1ボランティア チャレンジカード

日付	やったこと	なぜやろうと思ったか	やって良かったこと・今思ふこと
4/19	洗たくたみ	たぐいあまから。	手伝うと毎週かかおこんで来てくれた。
4/20	洗たくし	お母さんがたいへんそわそわしたから。	お母さんが楽になっただけで、お母さんお疲れ。
4/21	そじ	お掃除が楽に思えた。	自分でやることに、お疲れを感じた。
4/22	玄関 そじ	いつもお掃除が楽に思えていたので、お掃除が楽に思えた。	思ってたよりもお掃除が楽に思えたので、お掃除が楽に思えた。
4/23	皿洗い	お皿がたまってたから。	ふた後も、食器棚にしぼりも大変です。
4/24	そじ	自分の部屋がさすめていたので。	定期的にやることに思えた。
4/25	洗たくし	たぐい洗たく物があまから。	毎日お掃除で、お掃除が楽に思えた。
4/26	ゴミ出し	ゴミが重たくなってたから。	ゴミを少なくする努力がしたいと思えた。
4/27	モップかけ	お掃除の初めに、お掃除が楽に思えたから。	お掃除が楽に思えたので、お掃除が楽に思えた。

◇活動を振り返って◇
この長い休みの中で、親の役に立つことがたくさんあったから、これからも進んで取り組もうと思った。

◇保護者の方から◇
休み中、よく家のことを手伝ってくれました。やったことは、自分の今後に生かせると思うので、続けてほしいです。

【このよさを学びたい!】

- ・駄知中では、「1家庭1ボランティア」の取組が継続して行われています。地域でも、生徒はボランティアとして活躍しています。「誰かのために何かをする」ことが、自然に身に付き、休校中の取組につながっていること。
- ・保護者の方の、「たくさん助けてもらいうれしかった。」「自分からすすんで手伝ってくれてありがとう。」「これからもお願いします。」という感想が、子どものやる気になり、親子の絆が深まること。
- ・継続して取り組むことで、自分の良さに気付き、ステップアップして次の取組に向かうことができること。

1家庭1ボランティア チャレンジカード

日付	やったこと	なぜやろうと思ったか	やって良かったこと・今思ふこと
4/19	洗濯	手伝うのがお母さんのお疲れを減らす。	お母さんのお疲れを減らす。
4/20	洗濯	お母さんがたいへんお疲れを減らす。	お母さんがたいへんお疲れを減らす。
4/21	洗濯	お母さんがたいへんお疲れを減らす。	お母さんがたいへんお疲れを減らす。
4/22	洗濯	お母さんがたいへんお疲れを減らす。	お母さんがたいへんお疲れを減らす。
4/23	洗濯	お母さんがたいへんお疲れを減らす。	お母さんがたいへんお疲れを減らす。
4/24	洗濯	お母さんがたいへんお疲れを減らす。	お母さんがたいへんお疲れを減らす。
4/25	洗濯	お母さんがたいへんお疲れを減らす。	お母さんがたいへんお疲れを減らす。
4/26	洗濯	お母さんがたいへんお疲れを減らす。	お母さんがたいへんお疲れを減らす。
4/27	洗濯	お母さんがたいへんお疲れを減らす。	お母さんがたいへんお疲れを減らす。

◇活動を振り返って◇
この長い休みの中で、親の役に立つことがたくさんあったから、これからも進んで取り組もうと思った。

◇保護者の方から◇
普通から私を助けてもらっています。毎日たくさん家のことをしてくれてありがとうございます。

1家庭1ボランティア チャレンジカード

日付	やったこと	なぜやろうと思ったか	やって良かったこと・今思ふこと
4/20	くろろえ	自主的に	自分でやることに思えた。
4/21	くろろえ	自主的に	自分でやることに思えた。
4/22	皿洗い	母のたのま	お母さんのたのまをやることに思えた。
4/23	皿洗い	仕事のため	お母さんの仕事を助けることに思えた。
4/24	皿洗い	自主的に	自分でやることに思えた。
4/25	皿洗い	自主的に	自分でやることに思えた。
4/26	皿洗い	自主的に	自分でやることに思えた。
4/27	皿洗い	自主的に	自分でやることに思えた。
4/28	皿洗い	自主的に	自分でやることに思えた。
4/29	皿洗い	自主的に	自分でやることに思えた。

◇活動を振り返って◇
毎日は、毎日大変なので、これからも自主的に手伝いをしたいと思っています。

◇保護者の方から◇
お掃除はすごく助かりました。自分の部屋のそうじかけを、もっと自主的にやれるようにこれからもがんばってください。オムライス作り、自分で考えて一から全てがんばりました。

中津川市立東小学校 在宅取組型

うちどく 「家読&ほめほめキャンペーン」

取組期間 令和2年8月8日(土)～8月16日(日)
参加者 全校親子

「家族で本に親しむこと」「家族で良いところを見つけてほめ合うこと」を通して、 家族の絆を深める在宅取組型家庭教育

今年度の東小学校 PTA 活動スローガンは、「大切にしよう」です。コロナ禍で、家族の絆を大切にしたい取組が、なかなか計画できない中で、家庭教育委員長さんが、こんな時こそ親子で取り組むことができることを何かやりたいと考え、「家読&ほめほめキャンペーン」を企画しました。東小学校が力を入れている読書を家庭へ広げ、家族みんなで行く「家読」。子どもが家族に、家族が子どもに感謝の気持ちを伝える「ほめほめキャンペーン」。この二つを同時に取り組み、家族を大切に、家族の絆を深める夏休みになりました。

取組の内容

- ねらい 家族で本に親しんだり、お互いの良いところを見つけ褒め合ったりすることで、より家族の絆を深める。
- 夏休み前に、全児童に取り組みのカードを配付する。カードは、一枚に「家読」と「ほめほめキャンペーン」を記録する。
 - 各家庭でキャンペーンカードに親子で記入する。

令和2年7月27日

保護者の皆様へ

中津川市立東小学校
PTA会長 西村 大介
家庭教育委員長 出川 重夫
校長 大橋 健一

夏休み うちどく 家読&ほめほめキャンペーンについて (ご案内)

口頭は、PTA活動にご協力いただきありがとうございます。
家庭教育委員会では、今年度のPTA活動スローガン「大切にしよう」と、東小学校が力を入れている教育活動「読書」をもとに、今年も家読(うちどく)を企画しました。加えて、昨年度好評だった「ほめほめ活動」も同時に取り組むことで、より一層家族の絆を感じることができたらと考えています。今年の夏休みは短いですが、この家庭教育委員会の活動を通して、落ち着いた雰囲気の中で親子の気持ちを大切にすることで、家族の絆がより良くなりましたら幸いです。ぜひ、ご家族で取り組んでください。取り組み方は下記の通りです。

記

- 実施期間：夏休み中(8月8日(土)～8月16日(日))
- 実施内容：家族で本に親しんだり、お互いの良いところを見つけ褒め合ったりする事で、より絆を深める。
- 実施方法：全児童にカードを配付。(8月7日(金))
各ご家庭でキャンペーンカードをもとに、できる範囲で活動を行う。
取り組み後に、親子で記入。低学年はご家族の方で書いてくださってもかまいません。

PTA家庭教育委員会企画

家族で『家読うちどく』&『ほめほめ』キャンペーン

いよいよ夏休み! 今年度のPTAスローガンは「大切にしよう」です。今年度の夏休みはとっても短いですが、家族でのんびりゆったり本を読んだり、お互いのいいところを見つけたりして、大切な家族との絆を深めましょう。

取り組み方はいろいろ。たとえばこんな取り組み方があります。

- 【家読】 親から子へ、子から親やおじいちゃん、おばあちゃんへ、また兄弟姉妹で読み聞かせをする。
・時間を決めて家族そろって読書をする。
・本を見ながら工作、折り紙、クッキングをする。
・本を読んで、想像しながら家族で絵を描いてみる、等
- 【ほめほめ】 何か家族のために自分ができていることを、(ぜひ子どもの頑張る姿を認めてください)
・ふだん感謝していることを、ことばで伝える。
・ほめる時は、お互いに目を見て、大げさに、照れない!
・ほめた後はスキンシップを!(ハグ、頭をなでる等)

【家読】 取り組み日 8月16日(日)

だれと [お母さんと妹]]
読んだ本 [おむすび]]
取り組み方 [おむすびを一緒に読んだ]]
お子さんの感想 [おむすびを一緒に読んだのが楽しかった]]
おうちの感想 [おむすびを一緒に読んだのが楽しかった]]

【ほめほめ】

子から家族へほめた内容 [おむすびが面白かった]]
家族から子へほめた内容 [おむすびを一緒に読んだのが楽しかった]]
お子さんの感想 [おむすびを一緒に読んだのが楽しかった]]
おうちの感想 [おむすびを一緒に読んだのが楽しかった]]

提出日:8月17日(始業式の日)

「家読&ほめほめキャンペーン」の案内

1枚に「家読」と「ほめほめ」を記入します。

PTA家庭教育委員会企画

家族で『家読うちどく』&『ほめほめ』キャンペーン

いよいよ夏休み! 今年度のPTAスローガンは「大切にしよう」です。今年度の夏休みはとっても短いですが、家族でのんびりゆったり本を読んだり、お互いのいいところを見つけたりして、大切な家族との絆を深めましょう。

取り組み方はいろいろ。たとえばこんな取り組み方があります。

- 【家読】 親から子へ、子から親やおじいちゃん、おばあちゃんへ、また兄弟姉妹で読み聞かせをする。
・時間を決めて家族そろって読書をする。
・本を見ながら工作、折り紙、クッキングをする。
・本を読んで、想像しながら家族で絵を描いてみる、等
- 【ほめほめ】 何か家族のために自分ができていることを、(ぜひ子どもの頑張る姿を認めてください)
・ふだん感謝していることを、ことばで伝える。
・ほめる時は、お互いに目を見て、大げさに、照れない!
・ほめた後はスキンシップを!(ハグ、頭をなでる等)

【家読】 取り組み日 8月9日(日)

だれと [お母さん]]
読んだ本 [おむすび]]
取り組み方 [おむすびを一緒に読んだ]]
お子さんの感想 [おむすびを一緒に読んだのが楽しかった]]
おうちの感想 [おむすびを一緒に読んだのが楽しかった]]

【ほめほめ】

子から家族へほめた内容 [おむすびが面白かった]]
家族から子へほめた内容 [おむすびを一緒に読んだのが楽しかった]]
お子さんの感想 [おむすびを一緒に読んだのが楽しかった]]
おうちの感想 [おむすびを一緒に読んだのが楽しかった]]

提出日:8月17日(始業式の日)

【このよさを学びたい!】

- 家庭教育委員会でこれまで行ってきた学校での保護者の「読み聞かせ」が、今年はコロナ禍で実施できず、家族の読書「家読」を夏休みに実施。また、「ほめほめキャンペーン」と一緒に取り組むことで、家族の絆がさらに深まったこと。
- 取組カードを1枚にしたことで、負担感がなく、記入後は、2つの取組の良さが、一目で分かり、家族の温かさが伝わること。

恵那市立東野小学校 在宅取組型

「おうち時間 東野小のみんなは、こんな事をしたよ！」

取組期間 休校中
参加者 全校親子

休校中のおうち時間をどんなふうにご過ごしたのか調べて発信することで、

家族の絆を深める活動を広げる在宅取組型家庭教育学級

母親委員長の伊藤さんが、コロナ禍の「新たな日常」の中で、何かできないかと考えました。各家庭で休校中にやったことを交流できたら、それを広げて、互いに勉強し合え、次の活動へつながると考え、5月の終わり頃、企画して準備しました。休校後に、アンケートを配付して記入してもらうという方法で、負担なく取り組むことができ、各家庭のおうち時間の工夫がたくさん集まりました。

家庭教育学級だより

～今年度 学級テーマ～
「こどもの“こころ”と“からだ”を守る」

恵那市立東野小学校
母親委員会 発行
令和2年8月6日 No.2
母親委員長 伊藤真理

長かった梅雨も明け、いよいよ夏本番となりました。保護者の皆様には日頃よりPTA活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。さて、前号お願いしました「おうち時間」のアンケートについて、多数の方から回答を頂き、ありがとうございます。今年は短いですけど夏休みや、今後も続くと思われる「withコロナ」の生活の中で、参考にしていただければと思います。

#おうち時間

東野小のみんなは、こんな事をしたよ！ アンケート結果報告
～ダイジェスト版～

回答数60名

Q1. 休校中、普段の休日とは違って、行った事はありますか？

1. ある 54人
2. 特になし 6人

Q2. Q1で、あると答えた方、何を行いましたか？

Q3.

第1位 運動・スポーツ 35人

縄跳び（毎日、週4日、二重跳び連続10回できた）・バドミントン
一輪車・サッカー・キャッチボール（球が遠くなった）・サイクリング
ジョギング（毎日、お兄ちゃんも、学校のグラウンドで、wiで運動
乗れるようになった（自転車、プレイボード））・跳び箱が飛べた
庭には土で等でお手紙を折って運動した
学校のリズムを崩さないよう、毎朝、登校時間に通学路を親子で歩いた

第2位 お手伝い 31人

洗濯物（毎日畳む、干す、とりこむ、畳む）・掃除機やモップかけ（毎日）
お風呂洗い（毎日、当番制）・お皿拭き・お米を洗う・花や野菜の水やり
畑に苗植え・田んぼの仕事・引越越し・食事（昼食、夕食）
竹の子遊び・廊下・応接除（兄弟で当番制）

第3位 おやつ作り 24人

ホットケーキミックスを使ってのお菓子（クッキー、ケーキ、ドーナツ等）
プリン・フルーツ・わらび餅・杏仁豆腐（混ぜるだけ）
アムネックス「えなっこスクール」の白玉フルーツポンチ
家の周りのヨモギを摘み、パンやクッキー

第4位 食事作り 22人

ハンバーグ・たこ焼き・味噌汁・インスタントラーメン・チャーハン
毎日朝食作り・昼食作り（オムライス、インゲン炒め、千切りキャベツ）
即料理（日替わりで色々）・ホットプレートを使ったご飯

第5位 自学 21人

気になることを調べた・毎日取り組んだ・漢字・ほほ毎日、五教科
親が問題をつくり、取り組んだ・親子で新学年の学習を進めた
自分で一日の予定を書き、生活した
休校が始まってすぐ、時間割をたて学校ごっこで勉強をした

第6位 ゲーム 20人

DS・親子でゲーム・ボードゲーム（コリドール、マンカラカラハ、
なんじゃもんじゃ等）・パズル、トランプ、将棋

第7位 手芸・工作 18人

段ボールで（ドラゴン、お面、自動販売機）、新聞紙で（家、テント）
段ボール・マスク・フェルトのマスク作り・名札を付けた・折り紙・鬼滅折り紙

第7位 断捨離 18人

机の中・子ども部屋・紙類・壊れたおもちゃ

第9位 家庭菜園 16人

ミニトマト・いちご・メロン・夏野菜沢山・セロリ・いんげん豆・じゃが芋
胡瓜・ひまわり・サルビア・パッションフルーツ・スイートハーブ

第10位 オンラインでの会話 14人

友達・園時代からの友達・遠くに住むいとこ

取組の内容

- ・休校中に、子ども達が、親子で、家族で、普段の休日とは少し違って、挑戦したこと、楽しんだこと等の紹介をする。
- ・アンケート用紙に記入して、担任の先生に提出する。

その他

- ・庭キャンプ。家族5人で庭でテント1泊。BBQ、テントでゲーム、庭でバドミントン、虫取り等、外でずっと過ごした。パパだけ翌日も一人でテント泊。
- ・遠足・祖父母とのふれ合い
- Q4. 自由にお書きください。嬉しかった事・大変だった事・困った事等
 - ・お父さんが、リフォームでテレワーク部屋を作った。
 - ・お父さんが、日曜日の昼食作り（焼きそば、お好み焼き、スクランブルエッグ）
 - ・いつもより家族で過ごす時間が増えた。楽しめた。
 - ・よく食べ、よく寝たことで身長がとでも伸びた。
 - ・遠足で3時間かけ祖父母の家まで行った。疲れたけれど、やり遂げるという自信につながった。
 - ・家族全員で遊んだ。今も遊びの時間を決めて継続中。
 - ・家の中に娘がテントを作り、妹と過ごしていた。部屋が狭くなったけど楽しく過ごせた。
 - ・部屋の模様替えは大変だったけど、自分好みの部屋ができた。
 - ・子どもたちのお手伝いが定着した。
 - ・昨年の勉強の振り返りで、足りないところをしっかりと取り戻せた。
 - ・子どもと自転車で東野探検。楽しかったです。
 - ・父のアドバイスを受けながら廃材で本格的な倉庫を作った時は感動した。
 - ・私がずっと仕事をしてきたので、4月5日と子どもと一緒に居て嬉しかった。
 - ・弟と遊べた！
 - ・買い物以外出かけなくても、色々な楽しみ方を見つけた。
 - ・休校がなくて、習い事を少なくして家族・本人の時間を大切にしようと思った。
 - ・毎日のお弁当三人分が大変でした。たまに洗い物がしてあると嬉しかったです。
 - ・子どもは自由時間ができ、休校を楽しんでいました。

- ・子ども自身が作った時間割をこなすための声掛けが大変でした。
- ・恵那の配信、学校の配信、宿題プリント。増えるのと何をやるのか迷いつかなくなった。
- ・毎一人で三人分の家庭学習をみるのはすごく大変でした。加えて食事！給食のありがたさを改めて感じました。
- ・一人限で、学童も休んで一人留守番が多くて心配でした。
- ・小学生のオンライン授業は無理だとよくわかりました。
- ・一階にいる事でもとにかく怒ることが増えた。先生方がどれだけ日々考えて下さっているかよくわかりました。
- ・家にいるためか、体力が衰えてきたことがわかりました。
- ・なかなか宿題が溜まらなかった。
- ・衣類を片付けたが回収してくれるところがない。可燃ゴミにするしかない。
- ・一日中ゲームになってしまったのでとて庭で遊べたらよかったです。
- ・子どもが、睡眠時間が短くなった。
- ・みんなに会えなかったのがさみしかったです。

～プラスにとらえる姿勢、すばらしい～

昨年3月から約3か月にわたる臨時休業となり、お子さんも保護者のみなさんも大変なことがいろいろあったかと思いますが、でもその中で、できないことを嘆くのみでなく「ふれ合う時間を増やす」「普段できないことに挑戦する」「新しい勉強の仕方を見つける」・・・等々、前向きにチャレンジする様子がアンケートから伝わってきて、すごいなと思います。中には「今まで当たり前だったことへの感謝」「関わってくれた人の見えなかった部分への感謝」にまで気持ちが向く保護者の方もみえて、「こんなことを子どもたちは吸収していくのだな」と思いました。

今後どうなっていくか見えませんが、いろいろな場面からとってプラスにとらえる部分を見つけ、笑顔で生活していけるとよいですね！



*多くの方がとても詳しく読んで下さりましたが、紙面の都合上、今回はダイジェスト版とさせていただきます。紙本は学校にありますので、原稿の続きが知りたい方は、ぜひご覧ください。

家庭教育学級だよりで、アンケート結果を報告しました。

- ・お父さんが日曜日の昼食づくり
- ・遠足で3時間かけ祖父母の家まで行った。
- ・家の中にテントを作った。
- ・自転車で東野探検
- ・学童も休んで一人留守番が多くて心配だった。
- ・体力が発散できなかった。
- ・みんなに会えなかったのがさみしかったです。

等、多くの方がとても詳しく書いてくださいました。コロナ禍を嘆くのみでなく、プラスにとらえて、親子の関わりを増やし、前向きにチャレンジすることを、全校に広げることができました。

次ページにアンケート用紙を掲載しました。



#おうち時間
東野小のみんなは、こんな事をしたよ！ アンケート

*親子・ご家族で休校中の事をふりかえりながら、ご記入下さい。

Q1. 休校中、普段の休日とは違って、行った事はありますか？
当てはまる番号に○をして下さい。
東野小の子どもが行った(関わった)事に限定させて頂きます。

1. ある 2. 特にない

Q2. Q1で、あると答えた方、何をしましたか？
当てはまるもの、全てに○をして下さい。

1. 読書 2. 手芸・工作 3. 運動・スポーツ
4. 家庭菜園 5. DIY 6. おやつ作り
7. 食事作り 8. テイクアウト 9. お手伝い
10. 自学 11. ゲーム
12. 動画配信サービス等の映画・ドラマ鑑賞
13. オンラインでの会話(例：県外に住む祖父母とラインのビデオ通話等)
14. 断捨離(大掃除・部屋の片づけ等)
15. その他 []

Q3. Q2の内容を、具体的に記入して下さい。
例：2. マスクを作った。 3. 毎日縄跳びをした。 6. プリンを作った。
学校の白くもろもろをくわして、今朝(平日)学校に通学する
時間に子供と一緒に通学路を歩きました。学校でグラウンドを走って、
気分がよくなりました。

Q4. 自由にお書きください。嬉しかった事・大変だった事・困った事等...
(番外編で、例えば、お父さんが挑戦した事でもOKです！)
とにかく、お父さんが頑張りました。学校、先生方がとてもだけ
一緒に頑張りました。お父さん、お母さん、お兄さんが頑張りました。

一緒にいることで、とにかくおこる
ことが増えました。学校の先生方が、ど
れだけ日々考えてくださっているか良く
分かりました。

#おうち時間
東野小のみんなは、こんな事をしたよ！ アンケート

*親子・ご家族で休校中の事をふりかえりながら、ご記入下さい。

Q1. 休校中、普段の休日とは違って、行った事はありますか？
当てはまる番号に○をして下さい。
東野小の子どもが行った(関わった)事に限定させて頂きます。

1. ある 2. 特にない

Q2. Q1で、あると答えた方、何をしましたか？
当てはまるもの、全てに○をして下さい。

1. 読書 2. 手芸・工作 3. 運動・スポーツ
4. 家庭菜園 5. DIY 6. おやつ作り
7. 食事作り 8. テイクアウト 9. お手伝い
10. 自学 11. ゲーム
12. 動画配信サービス等の映画・ドラマ鑑賞
13. オンラインでの会話(例：県外に住む祖父母とラインのビデオ通話等)
14. 断捨離(大掃除・部屋の片づけ等)
15. その他 []

Q3. Q2の内容を、具体的に記入して下さい。
例：2. マスクを作った。 3. 毎日縄跳びをした。 6. プリンを作った。
。マスクを作る
。ミニトマトを種をまく
。サイフォン

Q4. 自由にお書きください。嬉しかった事・大変だった事・困った事等...
(番外編で、例えば、お父さんが挑戦した事でもOKです！)
家の中に娘が自分で手作りプリントを作り、

家の中に娘が自分で手作りプリントを
作り、何日か妹と過ごしていました。部
屋がせまくなってしまったけど、出かけら
れない中、楽しく過ごすことができました。

#おうち時間
東野小のみんなは、こんな事をしたよ！ アンケート

*親子・ご家族で休校中の事をふりかえりながら、ご記入下さい。

Q1. 休校中、普段の休日とは違って、行った事はありますか？
当てはまる番号に○をして下さい。
東野小の子どもが行った(関わった)事に限定させて頂きます。

1. ある 2. 特にない

Q2. Q1で、あると答えた方、何をしましたか？
当てはまるもの、全てに○をして下さい。

1. 読書 2. 手芸・工作 3. 運動・スポーツ
4. 家庭菜園 5. DIY 6. おやつ作り
7. 食事作り 8. テイクアウト 9. お手伝い
10. 自学 11. ゲーム
12. 動画配信サービス等の映画・ドラマ鑑賞
13. オンラインでの会話(例：県外に住む祖父母とラインのビデオ通話等)
14. 断捨離(大掃除・部屋の片づけ等)
15. その他 []

Q3. Q2の内容を、具体的に記入して下さい。
例：2. マスクを作った。 3. 毎日縄跳びをした。 6. プリンを作った。
鳥小屋をいっしょに作った。

Q4. 自由にお書きください。嬉しかった事・大変だった事・困った事等...
(番外編で、例えば、お父さんが挑戦した事でもOKです！)
私がずっと仕事をしてきたので、4月
5月に家に居られて、子どもと一緒に居
られてうれしかったです。息子は勉強し
ると私に言われて「ママは居ない方が
いい」と言っていました。

【このよさを学びたい!】

- ・コロナ禍の休校期間中をプラスにとらえ、「ふれあいの時間」「チャレンジする時間」等として、家族で一緒に前向きに過ごした工夫を「家庭教育学級だより」で交流することができ、「こんなことができるんだ」「こんな工夫で親子のふれあいができるんだ」と、良さが全校へ広がったこと。
- ・休校期間が終わってから、「おうち時間」のアンケートを配り、保護者が負担なく取り組むことができたこと。

中津川市託児付き子育て講座 子育てサロン型
「ノーバディーズパーフェクト・プログラム」
完璧な親なんていない
～みんなでおしゃべりしながら自分にあった子育ての仕方を探してみよう～
日時 令和2年10月7日(水) 10:00～12:00
講師 中津川市文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課 社会教育指導員 安藤 広子さん
参加者 0～3歳の子どもを育てている親 17名

仲間と知り合い、安心して話すことで、自分に合った子育てを学ぶことができる講座

「ノーバディーズパーフェクト・プログラム」は、全6回の連続講座です。今回は、その第1回目、参加された方の初めての顔合わせと、これからの計画を立てる内容でした。間隔を取りながら3～4人でグループになり、自分で名札を書き、交流を中心に講座が進みました。グループで自分のことを交流しながら、同じ九州出身だと分かったり、転勤族だと分かったりして、笑顔で会話がはずみました。別室の広い部屋で託児があり、安心して参加することができました。

内容

- ・「げんこつやまのたぬきさん」の手遊びからスタート
- ・グループに配った紙に二重円を大きく書き、中の円にグループのメンバーの共通のエピソードを書く。
- ・外の円の中に自分のことを書く。
- ・記入した紙を使って他己紹介をする。
- ・講座のルールをグループで相談する。
- ・付箋にみんなで話したいことを書く。
- ・付箋の内容を「子ども」「心」「自分」「人間関係」「その他」に分け、5回の講座のテーマを決める。



楽しくグループで話しました



付箋を仲間分けしてテーマを決めました

【参加者の感想】

- ・子育てで悩んでいることがあって、コロナで乳幼児学級がなく、同じお母さん達とふれあいたかった。参加して楽しかった。
- ・子ども同士のふれあいが大事で、託児があるので参加した。
- ・コロナで集まる機会がなかったので、子どもも自分も、いろんな人と関わってよかった。
- ・友だちが欲しくて参加した。これからつながっている仲間になりたい。

【このよさを学びたい!】

- ・同じ年頃の子どもを育てているお母さんたちの大切な交流の場であったこと。
- ・子どもの悩みや自分のこと等、話し合いたいことがとても多く出され、悩みが同じであることに安心しながら、これからの講座のテーマを参加者が決めることができたこと。